

2025 年夏（秋）の気象災害 要因と対策

日 時 2025 年 9 月 22 日（月）13:00～14:30

主 催 一社）防災学術連携体（防災に関する 63 学協会のネットワーク）

開催方法 ZOOM ウェビナーと YouTube の併用 **参加費** 無 料

参加申込 ZOOM ウェビナー（定員 500 名）

視聴希望の方は次よりお申し込みください

<https://ws.formzu.net/fgen/S65446615/>

YouTube（申込不要）

<https://youtu.be/QJUPdBNouCg>

※発表資料は防災学術連携体ウェブサイトに掲載予定

https://janet-dr.com/060_event/20250922.html



趣 旨

2025 夏は、記録的な高温が

6 月から 9 月まで長い間続き、熱中症や

高温障害が多発しました。7 月には、日本海側をはじめ

多くの地域で、少雨が続いて水不足となり干ばつが発生しました。8 月上旬からは、前線の停滞、線状降水帯による大雨、停滞する台風に伴う大雨が起こり、水害や土砂災害が発生しました。防災学術連携体は 6 月 25 日に、市民へのメッセージ「2025 年夏秋の気象災害に備えましょう」を発表し、8 月 8 日に台風・大雨に関する特設ページをホームページに開設し、防災を呼びかけてきました。ここで、今年の夏（秋）を振り返り、①気象の状況と要因、②猛暑による熱中症の状況、③水関連災害の状況について、速報会を開催します。学術的に正しい情報を発信すると共に、今後の対策について分野を超えて意見交換します。

プログラム

司 会 米田雅子 防災学術連携体代表幹事、宇都宮大学理事

13:00 趣旨説明 橋田俊彦 防災学術連携体幹事、横浜国立大学客員教授

13:10 「2025 年夏の記録的猛暑と少雨傾向、及び地域的な大雨の実態と要因」

中村 尚 防災学術連携体幹事、東京大学名誉教授、日本気象学会

13:30 「猛暑による熱中症の状況と対策」

横堀将司 日本医科大学教授、日本救急医学会

13:50 「水関連災害の状況と対策」

池内幸司 防災学術連携体副代表幹事、東京大学名誉教授、土木学会会長

14:10 全体意見交換

14:30 閉 会